

『センス・オブ・ワンダー』をいつまでも

校長 建部 敦

読書の秋ということでレイチェル・カーソンの著書『センス・オブ・ワンダー』を読んだ。内容は機会があれば読んでいただくとして、本のタイトルにもなっているこの言葉、しばらく使うこともなく忘れていた。本を読み終えたあと、とある会議の中でもこの言葉を耳にした。そのようなことから、最近の心に残る言葉の一つとなった。

“Sense of wonder”とは直訳すれば“驚く感性”、レイチェル・カーソンによると“神秘さや不思議さに目をみはる感性”だそうだ。“子どもたちの世界はいつも生き生きとして新鮮で美しく、驚きと感激に満ちあふれている…”そんな文にふれると、確かに子どもの頃はそうだった、などと遠い過去を思い出してしまう。

話は変わるが、今月本校6年生の修学旅行を実施した。再延期でようやく実現した県境を越える一泊二日の岩手県への旅である。実施に至るまで心配された保護者の方も多かったと思うが、43名の6年生全員楽しく修学旅行を満喫し、無事に帰ってくることができた。数々の幸運も重なった。天候には恵まれたし、県外からの客を受け入れたばかりの施設もあり、再延期したこの時期だからこそ見学が可能だったようだ。訪れたどの見学地も観光客が極端に少なく貸し切り状態だった。感染者が減少した直後だったこと、多くの学校が地元県内へ旅行先を変更したことが多分に影響したようだ。そして何より旅行の実施に同意していただいた保護者のみなさんのおかげで旅行できたことに感謝である。

さて、その修学旅行の見学地の一つだった小岩井農場では、澄み渡る秋の青空のもと、陽光あふれる広大な景色が出迎えてくれた。子どもたちは心が開放されていく感覚を味わえたのではないだろうか。また宮沢賢治の童話村では、ファンタジックホールや大地の部屋などに入った瞬間、子どもたちから歓声があがっていた。まさにセンス・オブ・ワンダーである。

賢治は生涯センス・オブ・ワンダーを忘れなかった人だという。大人になる前に失ってしまうことが多いといわれるこの感性、私はすでにたくさん失ってしまったかもしれないけれど、子どもたちにはぜひいつまでも持ち続けてほしいものだ。



## 自己ベストに挑戦した校内持久走記録会



10月14日に1～5年生までの児童が本校グラウンドで持久走記録会を行いました。コロナ禍のため昨年度同様低中高学年に分かれての実施でした。持久走ウイークとして中間休みに5分間走を行ったり、体育の時間に走ったりしながら気持ちを高めて当日を迎えました。自分の限界に挑戦する姿が何より素晴らしかったです。保護者のみなさん応援ありがとうございました。

## 地域の方々に支えられて学ぶ左小生～ありがとうございました～

5年生が小見地区の伊藤真人さんの田んぼで、春に田植え体験をさせていただきました。そして9月30日、今度は稲刈りを伊藤さんご指導のもと体験しました。時間がたつにつれ想像以上の大変さを実感し、学校に戻ってからの振り返りでは「農家さんに感謝しながら食べたい」「米を大事にしたい」「無駄にはしてはいけない」等の感想が出ていました。3名の指導者の皆様ありがとうございました。



10月5日、本校グラウンドにおいて本郷東小と左沢小6年生の交流会が行われました。これは今年度からスタートした町小学校長会主催の事業です。第1回目の今回は講師に県縦断駅伝でご活躍の渡邊哲也さんをお迎えし、走りの基本について教えていただきました。進んで交流を図ろうという姿が見られよい講習会となりました。



10月12日、JA大江支所様より1年生にランチマット、5年生にごはん茶碗をいただきました。大切に使用させていただきます。



10月4日に大江町の人権擁護委員の方々が来校し、5年生に花植えと人権に関するお話をさせていただきました。いただいた花は大事に育てていきます。

## 11月の予定

1日(月)	PTA 学年部街頭指導	13日(土)	やまがた教育の日
3日(水)	文化の日	17日(水)	読み語り⑤
4日(木)	3校時限(給食なし)	19日(金)	公開授業研究会
5日(金)	キャリアトーク(5・6年)	23日(火)	勤労感謝の日
9日(火)	歯科検診(上学年)		

